



# 秋田市上下水道事業 基本計画

2017~2026

～秋田市の水道事業は2017年で110周年～

いつでも いつまでも



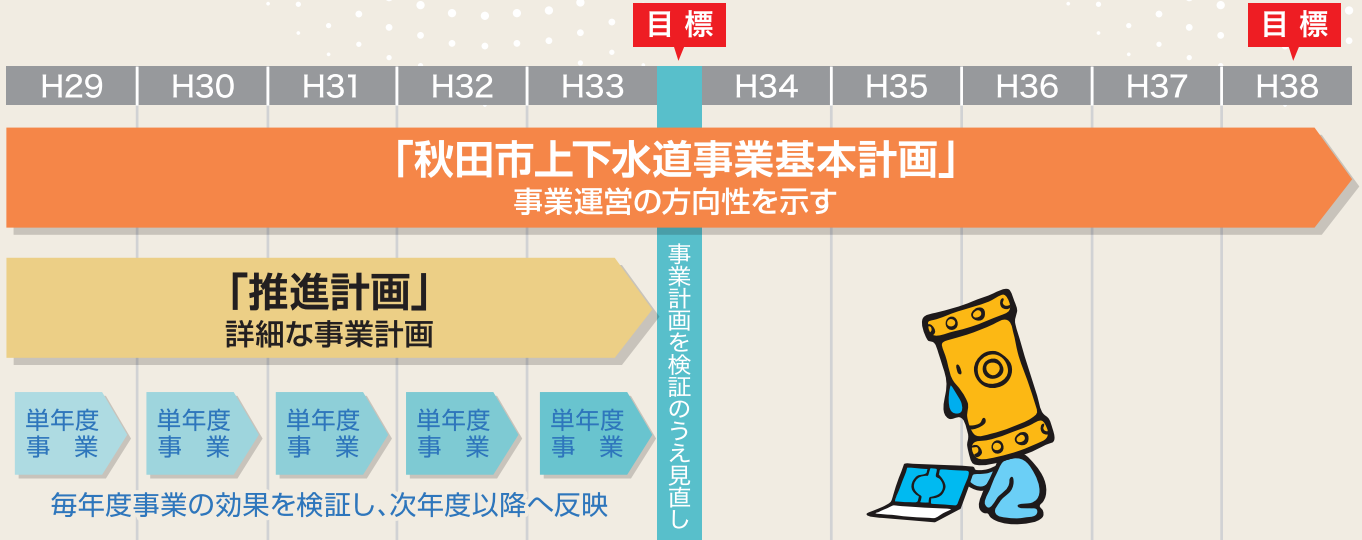
平成29年3月

# 計画の構成



「上下水道事業基本計画」では、10年間の計画期間における事業運営の方向性を示します。

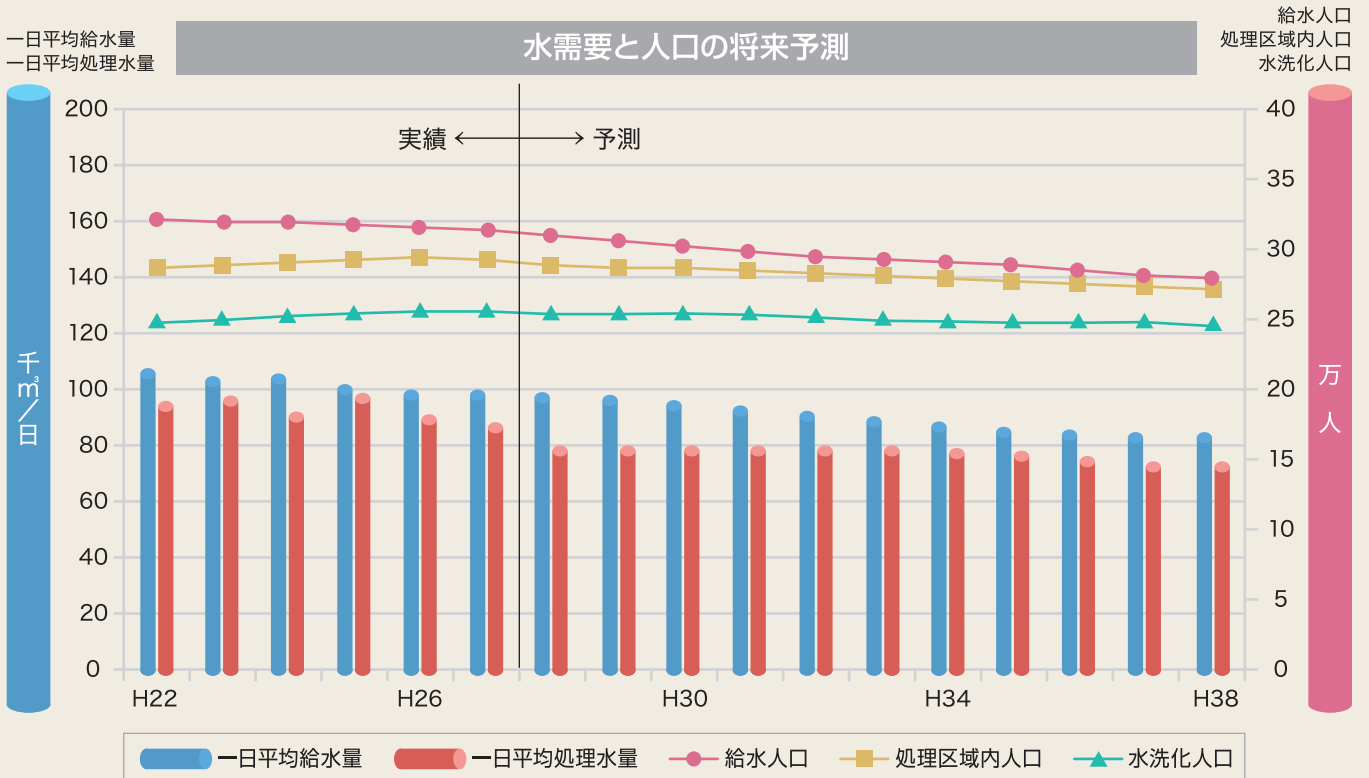
基本計画のもと、平成29年度から5年間に実施する事業の詳細な計画を「推進計画」として定め、毎年度事業効果を検証しながら計画の進行状況を適切に管理します。



# 水需要の将来推計



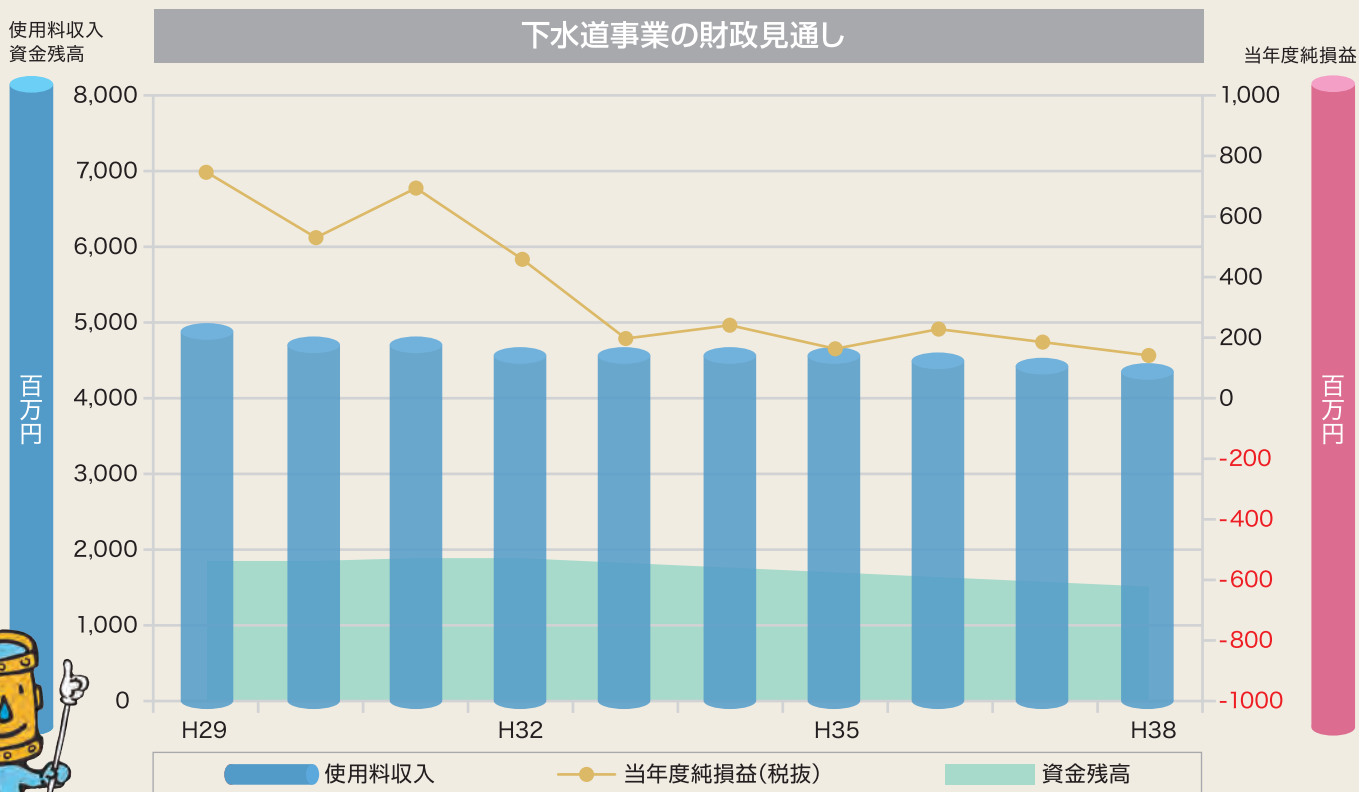
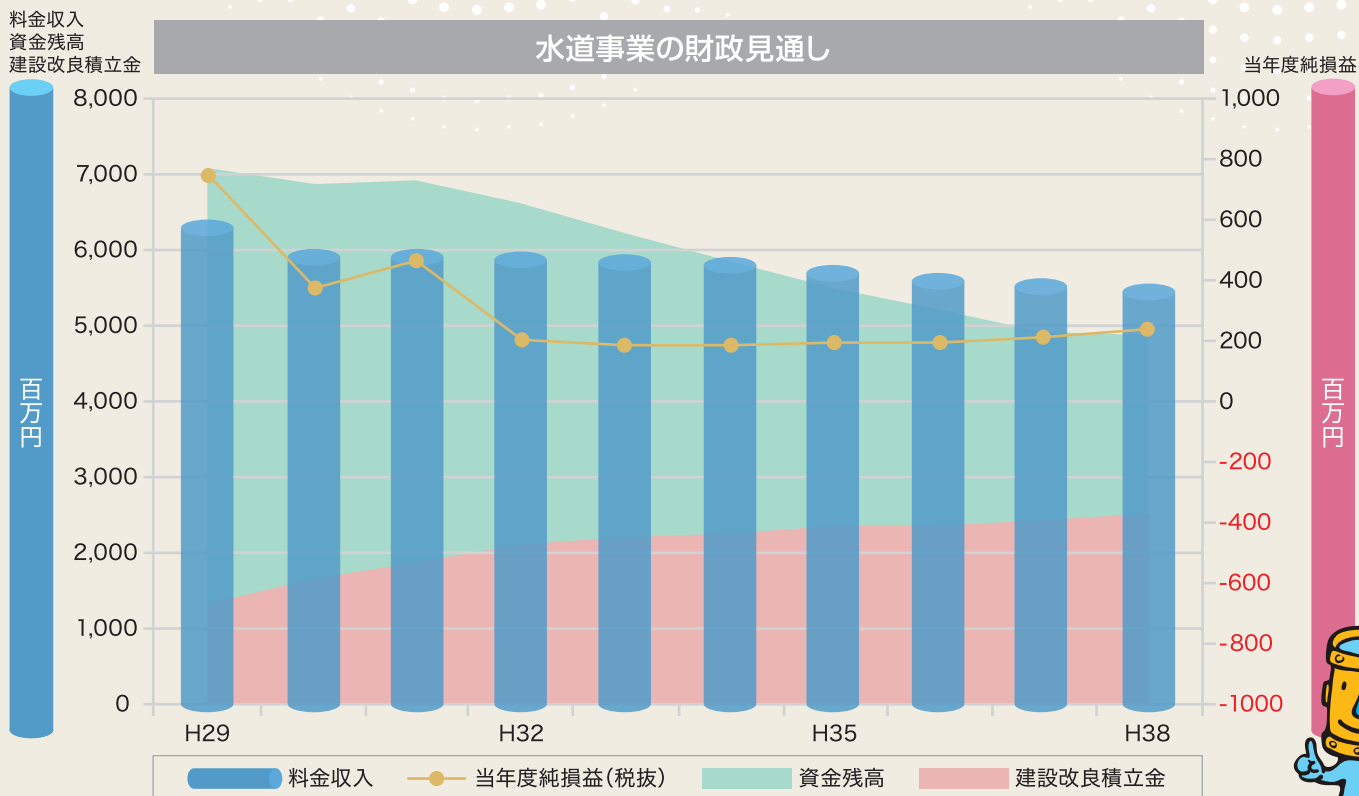
水需要については、下水道の整備などによる処理区域拡大を考慮しても、人口減や節水器具の普及などにより、今後も減少が続くものと予測されます。



# 財政状況の将来の見通し



財政状況については、水需要の減少を反映し厳しい経営環境が続くものの、事業運営の効率化を図るなど、企業努力を続けながら健全な経営を続けることができるものと予測されます。



# 基本理念



## 「いつでも いつまでも 秋田市の上下水道」

今後も厳しさを増す経営環境の中、安定した事業運営のもと、お客さまに“いつでも”良質な上下水道サービスを提供できる機能を維持し、環境の変化に適切に対応しながら、“いつまでも”事業を継続していく必要があります。

基本理念の実現に向け、以下に示す6つの基本方針と具体的施策を定めます。

### 経営の基本方針

### 具体的施策



#### 安全な水道水の供給

- ① 原水の安定性確保
- ② 適切な水質管理体制の維持
- ③ 蛇口から出る水の安全性確保



#### 快適な生活空間の維持向上

- ① 未普及地域の解消
- ② 公共用水域の水質保全



#### 災害に強い上下水道の構築

- ① 施設の耐震化
- ② 施設機能の維持向上
- ③ 供給システムの強化
- ④ 危機管理の充実
- ⑤ 浸水対策の推進



#### お客さまサービスの向上

- ① お客さまとの双方向性の確保
- ② 利便性の向上



#### 経営基盤の強化

- ① 事業運営の効率化
- ② 財政基盤の強化
- ③ 組織体制の見直しと技術の継承



#### 環境への配慮

- ① 有効率・有収率の向上
- ② 環境負荷の低減



# 基本理念を実現するため、経営の基本方針



## 安全な水道水の供給

原水水質の監視や浄水の水質管理を適切に行うとともに、老朽化が進む仁井田浄水場の更新に向けた基本計画の策定、鉛製給水管の解消を進めるほか、給水区域の末端部における水質の自動監視など、水質の安定化についての検討を行います。

### 仁井田浄水場更新基本計画を平成30年度までに策定します

- 平成29年度に仁井田浄水場の更新に係る基本計画の策定に着手し、水処理性能の向上、耐震性能の確保、効率的な整備手法などを検討の上、早期の事業化を図ります。



仁井田浄水場

### メーター廻りや取出部の鉛製給水管の解消を目指します

- 水道管からの取出部や水道メーター前後などに使用されている鉛製給水管の解消を進めます。



鉛製給水管の使用状況



## 快適な生活空間の維持向上

下水道の主目的である、衛生的で快適な生活空間をより多くの市民に提供するとともに、良好な水環境の維持向上を図るため、施設整備などを計画的に進め、平成34年度までに汚水処理施設整備の概成を目指します。

### 汚水処理人口普及率 99.3%を目指します

- 太平、河辺、下浜などへの下水道の整備や、市設置浄化槽地域への浄化槽整備などを進めます。



下水道管路工事



市設置浄化槽工事

### 水洗化率 93.3%を目指します

- 融資あっせん・助成金制度による水洗化への支援制度を継続します。
- 未水洗化世帯への情報提供、個別 PR、アンケート調査を実施します。
- 個人で浄化槽を設置するなど、すでに下水道以外の手法で水洗化を行っている世帯などへの重点的な戸別訪問を実施します。

# 針に基づいた施策を推進します

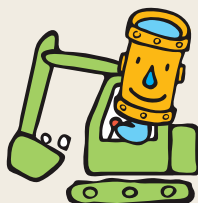


## 災害に強い上下水道の構築

上下水道施設は、毎日の生活に必要不可欠であることはもちろん、災害などの非常時も、できるだけその機能を維持することが求められることから、災害に強い上下水道の構築を推進します。

水道管路の耐震化率  
**33.0%**を目指します

- 老朽化した水道管を毎年20km以上更新します。



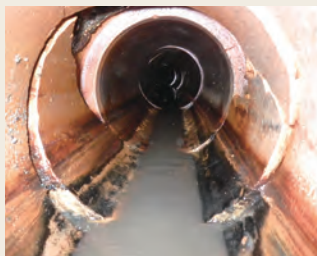
水道工事

下水道管路改築実施率  
**88.8%**を目指します

- 老朽化した下水管の更生などによる改築を進めます。

雨水排水整備率  
**50.8%**を目指します

- 新城川左岸3-1号幹線など雨水排水施設の整備や浸水箇所への局所的な対策などによる浸水対策を進めます。



更生前(左)と更生後(右)の下水管の内部



雨水幹線工事(左)と工事に使用する推進機(右)



## お客さまサービスの向上

お客さまが上下水道事業に望んでいることと、これからの上下水道事業が進むべき方向性に違いが生じないように、お互いの理解を深めながらお客さまサービスの向上に努めます。

お客さまとの**双方向性の確保**に努めます

- 広報紙や各種イベントの開催などにより、分かりやすくきめ細かな情報提供を行うとともに、アンケート調査などによりお客さまニーズの把握に努めます。



小学生を対象にした上下水道教室



水道ふれあいフェア





## 経営基盤の強化

人口の減少などにより、収益の減少が見込まれる厳しい経営環境においても、良質な上下水道サービスを継続していくため、より一層の事業運営の効率化と財政基盤の強化に努めます。

### 下水道処理場を 5箇所から3箇所にします

- 平成32年度に八橋下水道終末処理場の汚水処理機能を秋田臨海処理センターへ統合します。



秋田臨海処理センター



八橋下水道終末処理場

### 農業集落排水処理施設を 22箇所から8箇所にします

- 農業集落排水処理施設の統合や公共下水道への接続を進めます。



河辺岩見農業集落排水処理施設

### 料金・使用料などの収納率 99.6%を目指します

- ホームページや広報紙を活用した口座振替制度のPRなどを行います。



## 環境への配慮

上下水道事業は、資源やエネルギーを消費する事業であることから、事業運営に当たっては、できるだけ環境負荷の低減を図るなど、環境に十分配慮します。

### 水道の有効率 95.5%を目指します

- 漏水調査の結果に基づいた対策などにより、有効率、有収率の向上を図ります。



漏水調査

### 低排出ガス車適合率 100%を目指します

- 公用車を計画的に低排出ガス車などへ更新します。



平成24年度に導入した電気自動車



# 10年後の上下水道の姿



雨水幹線工事に使用する推進機

雨水幹線の整備などにより、雨水排水整備率が向上しています。

**[49.0%→50.8%]**

人口・水需要ともに減少しています。

水道

給水人口：282,235人

(27年度末 312,427人、9.6%減)

一日最大給水量：99,432m<sup>3</sup>

(27年度末 113,439m<sup>3</sup>、12%減)

下水道

汚水処理人口：280,307人

(27年度末 308,932人、9.2%減)

一日処理水量：78,803m<sup>3</sup>

(27年度末 88,548m<sup>3</sup>、11%減)

●農業集落排水事業など他事業も含む

秋田臨海  
処理センター

八橋処理区などの汚水処理を秋田臨海処理センターに統合し、効率化が図られています。

八橋下水道  
終末処理場

八橋下水道終末処理場では、雨水処理のみを行っています。

上下水道局

経営環境の変化に対応しながら、基本計画に基づき、健全に経営されています。

仁井田  
浄水場



下水道管路工事

下水道管の整備がおおむね完了し、汚水処理人口普及率が向上しています。

**[97.8%→99.3%]**

豊岩浄水場

水需要に対応した適正な規模の浄水場に生まれ変わります。

仁井田浄水場とのバランスを考慮した施設能力により、効率的に運用されています。

老朽下水道管の改築が進み、下水道管路改築実施率が向上しています。

**[24.6%→88.8%]**

水道管の更新・整備により、水道管路の耐震化率が向上しています。

**[20.4%→33.0%]**



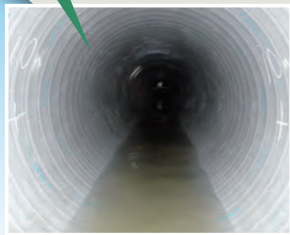
水道工事

公共下水道への接続などが進み、効率化が図られています。

**[22箇所→8箇所]**



上下水道局 マスコットキャラクター  
水乃 環太郎 (愛称:カンちゃん)



更生後の下水管の内部



漏水調査

配水管の整備や漏水調査等の効果により、有効率が向上しています。

**[94.3%→95.5%]**

農業集落  
排水処理施設

※[ ]内の数値については、27年度末実績→38年度末目標

秋田市上下水道局

総務課

電話：018(823)8434 FAX：018(824)7414

mail: ro-wtmn@city.akita.akita.jp